

年 組 (番) 名前

記入日 月 日

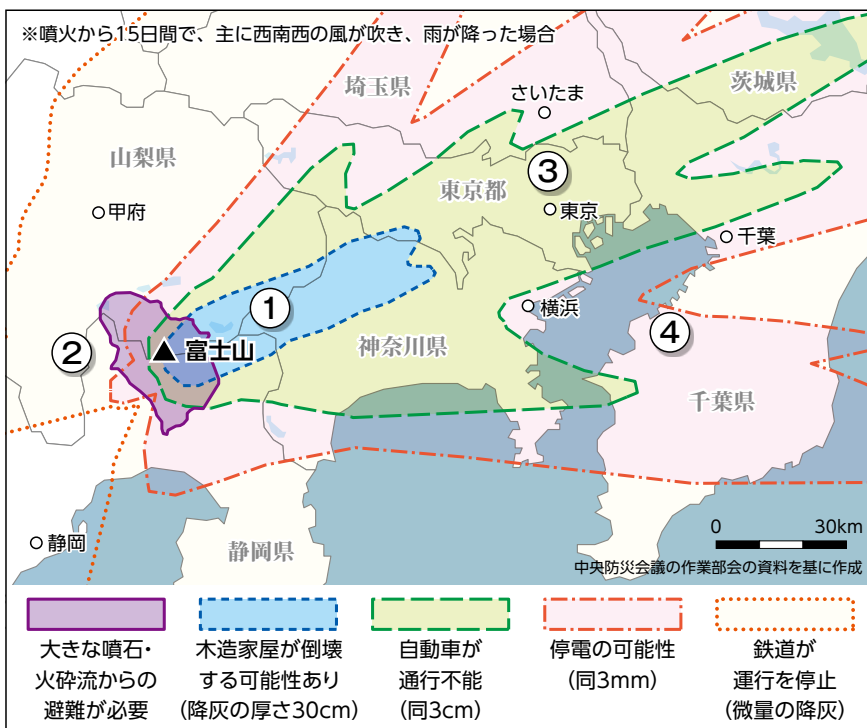


火山噴火に備える

【表1】 噴火時に発生する火山現象

<p>①</p>  <p>大きなものは20～30センチメートル以上で、火口から2～4キロメートル以内に短時間で飛んでくる。登山者が死傷したり建物が壊れたりする。</p>	<p>②</p>  <p>目や鼻、喉などに影響を与える。できるだけ屋内にとどまる。道路が滑りやすくなるので、車の運転は避ける。</p>
<p>③</p>  <p>溶けた岩石が地表を流れる。速度はゆっくりなので歩いて避難できる場合もある。</p>	<p>④</p>  <p>高温の灰とガスが流れ落ちる。時速は数十～百数十キロメートルで、温度は数百度に達する。</p>

【表2】 富士山の噴火による火山灰の影響予測



降灰時外出は控える

富士山を含め、国内には活火山※が111ある。ひとたび噴火が起されば、火山灰や噴石、火砕流などによって周辺に大きな被害を与える可能性がある。遠くまで影響を及ぼすのが火山灰だ。上空の風に乗り、風下側を中心に広い範囲に降り積もる。降灰中はなるべく、屋内にとどまり、ドアや窓の開け閉めはしないようにする。外出する場合も、滑りやすいため車の運転は避ける。火山灰を取りのぞく時は、目や鼻

などに灰が入らないよう、マスクやゴーグルを着用したい。日本百名山に数えられる活火山も多く、登山中に噴火に遭遇する恐れもある。事前に、気象庁による噴火警報などの発表状況を確認しよう。入山可能な場合も万が一に備え、自治体作成

の火山防災マップなどで被害の予想エリアや避難場所を調べておく。警察などに登山計画書を提出し、噴石から頭を守るヘルメットなども持参したい。

※活火山…これまでに噴火したことのある火山や、今後噴火する可能性のある火山のこと

(2021年3月18日 読売新聞朝刊より)

1 国内には、富士山以外に活火山がいくつあるでしょうか。

2 【表1】のうち、「火山灰」のことを説明しているのはどれですか。番号で答えましょう。

3 富士山の噴火による火山灰の影響を予測した【表2】を調べたタロウ君は、「僕の家は、停電の可能性はあるけれど、自動車で避難することができそうだ」と思いました。タロウ君の家は、【表2】の①～④のうち、どこにあると考えられますか、番号で答えましょう。